

木戸忠太郎 きど ちゅうたろう 達磨研究九家。明治四年四月十四日東京生れ、昭和二十四年没（二八七一—一九五九）。號千羊、居心堂主人、居心堂朴良、微勝子、朴堂、朴翁、朴叟、朴叟、朴良、朴良子、松菊舍等。父は木戸孝允。
夙つとに雑誌『少年文庫』、『文庫』に投稿、第一高等學校時代は『無名會雜誌』で活躍するほど文筆を好んだ。東京帝國大學理科大學地質學科卒。多年瀟鎮（南瀟洲鐵道株式會社）に勤務。平生達磨を愛し、その研究九家として知られた。

著書『小達磨集』（昭和十二年九月十日京都・木戸達磨堂）刊。